

たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

倉敷市でいちばん

平成18年4月に教頭として船穂小学校に赴任した。子どもたちは落ち着いていて、生徒指導上の問題がたびたび起こるなどの緊迫した様子にはなかった。しかし、前年8月に倉敷市と合併した直後で、教頭の業務の多くを新たに倉敷市ベースで作り直さなくてはならない状態だった。小教研、交対協、市費令達予算の執行など、すべてが手探り状態でいつも追い込まれた気分で行事をしてきた。

また、前年まで町役場や町教委が中心となっていた夏祭りやお飾り作りなどの行事の実施が危ぶまれる状況だった。町役場や町教委に代わるコミュニティー協議会のような組織はなく、親師会や船穂中学校区青少年を育てる会や船穂町社会福祉協議会の方々が、何とか自分たちの手で行事を存続させようと懸命な時期だった。

今年も予定されている「夏祭り」や「キッズキャンプ」や「三世代交流グランドゴルフ大会」や「お飾り作りの会」などを保護者の方や地域の方といっしょになって作り上げた。「船穂町の灯を消してはならない。」幾度となくこの言葉を耳にした。

「倉敷市でいちばん掃除ができる学校」を8つの約束に入れたのはこのような背景からだ。学習でもあいさつでもげた箱のはきものそろえ方でも何でもいから、倉敷市でいちばんと子どもたちと保護者の方と地域の方とともに誇れる何かをほしいと思った。そして、掃除であれば今もよくがんばっているし、熱心に指導して子どもたちの意欲を高めれば「倉敷でいちばん」と宣言できるようになるのではないかと思った。倉敷市でいちばん掃除ができる学校だと子どもたちが意識することで、倉敷市に対する所属感や船穂町や船穂小学校に対する愛着を深めることができるのではないかと思った。

すでに取り組みはスタートし、明石裕子先生、太田信子先生を中心とした清掃指導の充実や、門野充恵先生を中心とした児童会による宣言などの取り組みが進んでいる。

「小学校の頃、倉敷市でいちばん掃除ができる学校とか言って掃除時間がんばってたよな。」などと子どもたちが成人した後も心に残っているような取り組みになるといいなと思っている。

